

プレスリリース

〈報道関係者各位〉

令和4年11月9日

大阪歴史博物館

12.4^日
まで

大阪歴史博物館で開催中！

特別企画展「刀剣 ～古代の武^ぶといのり～」



大阪歴史博物館では、令和4年(2022)10月15日(土)から12月4日(日)まで、6階特別展示室において、特別企画展「刀剣～古代の武といのり～」を開催しています。

刀剣は、日本列島には弥生時代にはじめてもたらされ、その武力や輝きから神聖視され、戦いに用いる武器であるとともに、権力者の偉容を示す権威の象徴となりました。近年の研究では、刀装具を含め、中国や朝鮮半島からの影響やその製作方法など、さまざまなことが明らかになりつつあります。

本展覧会では、大阪府及び古代歴史文化協議会を構成する14県※(注)の古墳時代の刀剣類を一堂に集め、刀剣から見た日本列島の古墳文化の特徴を紹介し、ヤマト王権と地方の交流や、刀剣が古墳時代社会において果たした役割を明らかにします。関東から九州にかけての古墳文化を彩った刀剣を通じて地域特有の文化を知り、文化を育んだその場所に行ってみたくなるようなコーナーも設けています。

※(注) 埼玉県・石川県・福井県・三重県・奈良県・和歌山県・兵庫県・岡山県
・広島県・鳥取県・島根県・福岡県・佐賀県・宮崎県

いにしへの輝きが復活

宮崎県小林市

おおはぎ
大萩14号地下式横穴墓出土の研磨刀剣

5世紀 宮崎県立西都原考古博物館蔵



発掘調査で出土した刀剣類は錆びた鉄の棒のようになっていますが、これは遺跡から出土したものを研いで錆を落とし、当時の輝きを取り戻したものです。なお、手前が剣、奥が刀です。刀は湾曲せず、まっすぐに伸びるのが古墳時代の特徴です。同じケースに展示している鎌倉時代の日本刀（太刀 銘 備前国宗安作、大阪歴史博物館蔵）と比べてみてください。



しらぎ 新羅からの舶載品

宮崎県高鍋町

もちだ
持田26号墳出土の三葉環頭大刀・小刀の柄頭

6世紀 宮崎県立西都原考古博物館蔵



つか
柄の先端に平面がカマボコの断面のような環がつき、その内側に三葉文の装飾があります。いずれも刀身は残っていません。朝鮮半島の新羅の古墳では、このような柄頭をもつ大刀と、その鞘に小刀が付属する事例が複数あることから、本例も新羅からもたらされたものと思われます。

完全に残る馬のかぶと冑

和歌山県和歌山市
大谷古墳出土の馬冑

5世紀 国指定重要文化財 文化庁蔵(和歌山市立博物館保管)



馬冑とは馬の頭にかぶせる冑のことです。写真のように複数の鉄板をつなぎ合わせて作っています。朝鮮半島の加耶の古墳で多くの類例があることから、本資料も加耶からもたらされたものと思われます。日本では將軍山古墳(埼玉県行田市)、船原古墳(福岡県古賀市)を含めて3例しかない重要な資料です。

(参考) 復元された加耶の戦士
(韓国慶尚南道金海市 大成洞古墳群)



腰のたち大刀に注目！

埼玉県行田市

瓦塚古墳出土の弾琴埴輪

6世紀 埼玉県立さきたま史跡の森博物館蔵



この人物埴輪は膝の上で琴を弾いていますが、腰に大刀をつけています。大刀は柄の先が握り拳状のふくらみを持ち、このような柄を持つ大刀は「頭椎大刀(かぶつちのたち)」と呼ばれています。

今回の展覧会では、同じ形の大刀として、三重県明和町の坂本1号墳の頭椎大刀の複製品と復元品(明和町蔵)を展示していますので、あわせてごらんください。



旅行の
気分で

刀剣のふるさと紹介（地域紹介コーナー）

古代歴史文化協議会に参加の14県（埼玉県・石川県・福井県・三重県・奈良県・和歌山県・兵庫県・岡山県・広島県・鳥取県・島根県・福岡県・佐賀県・宮崎県）の代表的な遺跡や博物館を紹介し、チラシを置くとともに、各地域のグッズを展示しています。次はぜひ刀剣のふるさとを訪ねてみてください。



● 展示構成

- 序章 刀剣文化の源流
- 第1章 刀剣のはじまりと前方後円墳の成立
- 第2章 刀剣が語る巨大古墳
- 第3章 刀剣からみた王権と地域支配
- 第4章 刀剣の生産
- 第5章 刀剣に込めた想い
- 終章 刀剣のゆくえ
- 付章 刀剣のふるさと紹介（地域紹介コーナー）

● 出品数 約 270 点

特別企画展「刀剣～古代の武といのり～」開催概要

会 期：令和4年10月15日（土）～12月4日（日）

休 館 日：火曜日

開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

会 場：大阪歴史博物館 6階 特別展示室

〒540-0008 大阪府中央区大手前4-1-32

TEL.06-6946-5728 / FAX.06-6946-2662

（最寄駅）Osaka Metro 谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前

主 催：大阪歴史博物館、古代歴史文化協議会

観 覧 料：常設展示観覧券でご覧になれます。

大人600円（540円）、高校生・大学生400円（360円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※中学生以下、大阪府内在住の65歳以上の方（要証明証提示）、障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料。

公式サイト：<http://www.mus-his.city.osaka.jp/news/2022/touken.html>

公式 twitter：<https://twitter.com/naniwarekihaku>

公式 Instagram：https://www.instagram.com/osaka_museum_of_history/

本リリースに掲載している作品画像は、広報作品画像としてご利用いただけます。

—報道に関するお問い合わせ—

大阪歴史博物館 企画広報課

TEL.06-6946-0989 / FAX.06-6946-2662

E-mail. koho@mus-his.city.osaka.jp